



労災ゼロはみんな達成



支部安全衛生委員会

事務局長 古井 昭朗

(サンユーザーサービス分会)

あけましておめでとうございます。

昨年12月7日に支部安全衛生委員会定期総会を開催しました。この開催については、危ぶむ声もありましたが、安全衛生委員会の中で、時間をかけて議論し、『安全は全てにおいて優先される』という高い意識と『すべての労災は必ず防ぐことができる』という強い信念のもと、万全の感染防止対策を取ることで開催することとしました。

総会当日は17分会から19名の参加があり、コロナ禍でも各分会の安全衛生に対する意識の高さがかがえました。

総会では、小林支部執行委員長と吉馴安全衛生委員長のあいさつの後、議事に入り、藤原事務局長より2019年度活動報告案、2020年度活動方針案の提案がありました。その中で、『安全衛生委員会の活動は、通常なら2月から4月にかけて安全衛生委員が各分会の職場の安全パトロール（実際に訪問して、対面での聞き取り調査など）をおこ

なっています。しかし、昨年は2月に9社しか安全パトロールができませんでした。その理由は3月に支部の組合員から新型コロナウイルス感染者が出たこと、4月の日本政府による緊急事態宣言を受け、苦渋の選択ではありましたが、感染防止の観点から、事態を見ながら今年度はパトロールを中止にした』との報告がありました。

さらに1月に発生した大阪支部内での組合員の労災事故についての報告があり、「作業中はヘルメットを正しく装着するように」との注意喚起がありました。

そして、2020年度の役員の選出があり、私が事務局長に選任されました。たいへん身の引き締まる思いではありますが、これまで先輩方が築いてこられた職場の安全衛生環境を壊すことなく、さらに一步前に進める活動を全力で行ってまいります。コロナの影響がどこまで続くのか先行きが見えず、安全衛生委員会としても従来の活動をどのように『ウイルスとの共存』の中で進めていくのかなど、課題は山積していますが、安全衛生委員の皆さんと共に、じっくりと協議しながら運営していきます。

本年もよろしく
お願いいたします。



青年部だより

全港湾大阪支部の組合員、ご家族の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で生活環境、活動などが制限されてしまい、不安の中の1年でした。私たち大阪支部青年部も思うような活動ができなくなってしまい、歯がゆい年となりました。

特に思ったことは、毎年欠かさず開催していた「海の子学園ふれあい餅つき大会」が、新型コロナウイルスの影響で、残念ながら中止となったことです。

子供たちといっしょに餅つきをしたり、ドッ

チボールや座談会などの交流を行ってきました。毎年、学園の子供たちが笑顔になって楽しんでいる姿を、昨年は見られなかった事がとても残念でした。

2021年はまだまだ新型コロナウイルスの影響がある中、大阪支部青年部1人ひとりが今できることをしっかりとおこない、今年は子供たちと笑顔で再会できるようしっかり団結して進んでいきたいと思ひます。

本年もよろしく
お願いいたします。

青年部部長 芳野 栄次 (大正埠頭分会)



だんけつ



発行 行 1-12-27
大阪 市 港 区 築 港
全 日 本 港 湾 労 働 組 合 西 地 方 大 阪 支 部
発 行 責 任 者 國 分 仁 昭



原点回帰で難局に挑む

執行委員長 小林 勝彦

新年おめでとうございます。

全港湾大阪支部組合員とご家族の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

迎えた2021年は丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢(耐える)」、「これから発展する前触れ(芽が出る)」というような年になると言われています。さらに、丑年には、先を急がず目の前をを着実に進めることが将来の成功につながっていくと言われています。

私たち大阪支部にとって昨年は、「激動の年」でした。新型コロナウイルス感染拡大による経済不安を抱えた春闘から始まり、日本製鉄による鉄鋼業界の統合・再編による先行き不安が募る一時金闘争などは、単に職場の状況だけではなく、社会全体の動向を見なければならぬほどの難しく耐える闘

争となりました。

そんな中、明るいきごともありました。争議中の大阪サンエー分会は、会社側が不当労働行為を認め、社内掲示板への謝罪広告、正常な労使関係を守る協定書などの「組合側完全勝利」、ガスケミカル物流分会は組織(分会)つぶしを扇動した「支配介入」、支部・地本をないがしろにした団体交渉拒否などの「不当労働行為」に対して、組合側の勝利和解を勝ち取ることができました。

これら2件の勝利は、組合の団結によるものであり、現在争議中の樽本機工分会、日ノ丸西濃分会、梅南鋼材分会闘争にとっても、追い風になることは間違いありません。

アベ継承政治を許さない!

一方、安倍前首相の突如の辞任により誕生した菅首相(政権)は前政権の民主主義を無視した独裁政治を見事なまでに引き継ぐこ

ろか、「学術会議問題」さらには、辺野古新基地建設の対話を無視した強行工事など、いっそう強権的な対応には目に余るものがあります。

しかし、この様に民意を踏みにじっている菅首相と太いパイプで繋がっている大阪維新の会の目論見である「大阪都構想」の住民投票は、良識な判断をした大阪市民により否決となりました。このことは、暗い世の中に希望の光となりました。この勝利を「労働組合つぶしの大弾圧を阻止する闘い」へと繋ぎ労働三権を守って行かなければなりません。

結びに、全港湾大阪支部は原点に戻り、組合員一人ひとりを大切に、そして互いに支え合える組織として、地域の仲間と共に平和と労働組合としての権利を守る闘いを団結の力で勝ち抜くことを軸に、この新しい年がよい年でありませう心から祈念して、新年のごあいさつとさせていただきます。